

学術フォーラム「未来への挑戦 – 日本学術会議 100 年に向けて –」  
の準備について

1. 当日発表資料作成の依頼  
【本文解説】と【関連テーマ】の合計9名でよいか。
2. 当日配布資料  
どの資料を配付するか。
3. 登壇者への事前配付資料  
講演者9名、パネル討論の方には事前に資料を配付するか。  
コメントされる方6名、メッセージ5名には事前に資料を配布するか。
4. アンケートフォーマット  
「I. 6. 専門分野 ア. 自然科学 イ. 社会科学 ウ. 人文科学 エ. その他( )」  
の変更について (別資料)
5. ライブ配信
6. HP お知らせ  
HP トップでお知らせする画面について (別資料)
7. ポスターの趣旨説明
8. その他





日本学術会議主催 学術フォーラム

# 未来への挑戦 – 日本学術会議100年に向けて –

開催日時：2020年3月30日（月）9：30 – 17：20（9：00受付開始）

開催場所：日本学術会議講堂 定員：250名（先着）

お申し込みフォーム：<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>

趣旨：30年後に日本・世界はどうか？ 少子高齢化、AI、ゲノム編集、気候変動、エネルギー問題、災害など、私たちの未来を左右する大問題について、日本学術会議の研究者たちは何を考えているのか。産業界や若者たちは何を求めているのか。学術会議創立70周年企画の「提言」のエッセンスをいち早くお届けします。

## プログラム

総合司会 野尻美保子（学術会議第三部会員）

9:30 開会挨拶 日本学術会議 **山極壽一** 会長  
科学技術振興機構 **濱口道成** 理事長  
文部科学省 **山脇良雄** 文部科学審議官  
内閣府 **松尾泰樹** 政策統括官

9:50～10:10 「未来への挑戦 – 日本学術会議100年に向けて –」の概要説明 **山極壽一**（学術会議会長）

10:10～11:05 Part 1. **持続可能な社会の実現に向けて** 司会 **宮崎恒二**（学術会議第一部会員）

【本文解説】多様性と包摂性のある社会へ – 誰もが自分らしく生きられる未来への道筋 **遠藤薫**（学術会議第一部会員）

【関連テーマ】少子高齢化と向き合う **安村誠治**（学術会議第二部会員）

【関連テーマ】共生社会実現の課題 **竹沢泰子**（学術会議連携会員）

【コメント】持続可能な社会を実現する技術 **徳田英幸**（学術会議第三部副部長）

【コメント】AIと社会 **山崎吾郎**（大阪大学COデザインセンター）

11:05～12:05 パネル討論1. **持続可能な日本社会が与える世界への影響**

ファシリテーター **佐藤岩夫**（学術会議第一部会員）

パネリスト **イリス ヴィーツォレック**（学術会議外国人アドバイザー（予定））、**村山斉**（学術会議連携会員）

**大野英男**（学術会議第三部部長）、**藤原聖子**（学術会議第一部会員） 他

12:05-13:20 (75分) ——— 休憩（1） ———

13:20～14:15 Part 2 **AIと生命科学がもたらすユートピアとディストピア** 司会 **小松浩子**（学術会議第二部会員）

【本文解説】医療とAIが融合した未来社会 **石川冬木**（学術会議第二部部長）

【関連テーマ】生命科学にできることとできないこと **上田泰己**（学術会議連携会員）

【関連テーマ】AIにできることとできないこと **山口高平**（慶應義塾大学理工学部管理工学科・理工学研究科）

【コメント】高度医療と人の幸福 **美馬達哉**（立命館大学先端総合学術研究科、医師）

【コメント】AIの課題と未来 **土井美和子**（学術会議連携会員）

14:15～15:10 Part 3 **環境・エネルギー・災害** 司会 **米田雅子**（学術会議第三部幹事）

【本文解説】エネルギー・環境問題解決のための日本の役割 **高村ゆかり**（学術会議第一部会員）

【関連テーマ】農業・資源の観点から **澁澤栄**（学術会議第二部会員）

【関連テーマ】国土強靱化の観点から **和田章**（学術会議連携会員）

【コメント】エネルギーの観点 **鈴置保雄**（学術会議第三部会員）

【コメント】災害復興をめぐる社会学 **高橋五月**（法政大学人間環境学部）

15:10～15:30 (20分) ——— 休憩（2） 質問票の回収 ———

15:30～16:05 **展望へのメッセージ**

産業界からのメッセージ **梶原ゆみ子**（富士通（株））

若手アカデミーからのメッセージ **川口慎介**（学術会議連携会員）

大学学部生からのメッセージ **宮崎紗矢香**（立教大学社会学部）

高校生からのメッセージ **黒岩露敏**（玉川学園高等部）、**白坂翠萌**（清泉女学院高等学校）

16:05～17:05 パネル討論2. **学術の観点から考える日本の選択 – 展望2020さらなる深読 –**

ファシリテーター **渡辺美代子**（学術会議副会長）

パネリスト **モンテ カセム**（学術会議外国人アドバイザー（予定））、**町村敬志**（学術会議第一部部長）

**寶金清博**（学術会議第二部会員）、**平井みどり**（学術会議第二部副部長）、**高橋桂子**（学術会議第三部幹事）

17:05～17：20 総括と閉会挨拶 **山極壽一**（学術会議会長）



お問い合わせ：日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当（03-3403-6295）





日本学術会議主催 学術フォーラム

# 未来への挑戦 — 日本学術会議100年に向けて

開催日時：2020年3月30日（月）9：30－17：20（9：00受付開始）

開催場所：日本学術会議講堂 定員：250名（定員になり次第締め切ります）

お申込みはこちらへ：<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>

参加費  
無料

趣旨：30年後に日本と世界はどうなるのでしょうか？少子高齢化、AI、ゲノム編集、気候変動、エネルギー問題、災害など、私たちの未来を左右する大問題について、日本学術会議の科学者たちは何を考えているのか、産業界や若者たちは何を求めているのか。学術会議創立70周年企画の「提言」のエッセンスをいち早くお届けします。

テーマ：Part 1. 持続可能な社会の実現に向けて

Part 2. AIと生命科学がもたらすユートピアとディストピア

Part 3. 環境・エネルギー・災害

パネル討論 1 持続可能な日本社会が与える世界への影響



# 日本学術会議主催学術フォーラム

令和2年3月30日開催  
「未来への挑戦－日本学術会議100年に向けて－」

ご参加の皆様へ、アンケートにご協力をお願いします。

本日は、日本学術会議主催の学術フォーラムにご参加いただき、ありがとうございました。  
今後の学術フォーラムの参考にさせていただきますので、アンケートにご協力下さい。

I. 初めに、あなたご自身についてさしつかえない範囲でお答えください。

1. 性別 男・女
2. 年齢層 ア. 20歳未満 イ. 20～29歳 ウ. 30～39歳  
エ. 40～49歳 オ. 50～59歳 カ. 60歳以上
3. お住まい ア. 東京都 イ. 埼玉県 ウ. 千葉県 エ. 神奈川県  
オ. 茨城県 カ. その他 ( )
4. 勤務地 ア. 東京都 イ. 埼玉県 ウ. 千葉県 エ. 神奈川県  
オ. 茨城県 カ. その他 ( )
5. 職業等 ア. 会社員 イ. 自営業 ウ. 公務員 エ. 団体職員  
オ. 大学教職員 カ. 小中高校教職員 キ. 学生・生徒  
ク. その他 ( )
6. 専門分野 ア. 自然科学 イ. 社会科学 ウ. 人文科学 エ. その他 ( )

II 次に、フォーラムについてお尋ねします。

- 1 このフォーラムを何によってお知りになりましたか。(複数回答可)  
ア. 所属の団体等からの案内(団体名: )  
イ. 日本学術会議からの案内(ホームページ・ポスター・案内メール・その他)  
ウ. 新聞・雑誌(名称: )  
エ. 友人・知人  
オ. その他 ( )
- 2 今までに、日本学術会議主催の学術フォーラムに参加したことがありますか。  
ア. ある イ. ない
3. このフォーラムの内容についてどのように思いましたか。  
ア. 大変良かった  
イ. まあまあ良かった  
ウ. あまり良くなかった  
エ. まったく良くなかった

4. このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)

- ア
- イ
- ウ

5. 今回実施のフォーラムについて、ご自由にお書きください。

6. 今後、日本学術会議がこのテーマについて更に議論するフォーラムを開催した場合、参加しますか。

- ア. 参加する
- イ. 参加しない
- ウ. わからない

7. 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。

8. その他、お気付きの点がありましたら、ご自由にお書きください。

※ ご協力ありがとうございました。忘れ物のないようお気を付け下さい。

※ このアンケート票は、お帰りの際、出口備え付けの回収箱にお入れ下さい。

## 質問票

1. 氏名 :
2. 所属、連絡先 :
3. 質問したい講演者 :
4. 質問内容 \* 簡潔に記入をお願いします。

---

---

---

---

---

---

---

## 質問票

1. 氏名 :
2. 所属、連絡先 :
3. 質問したい講演者 :
4. 質問内容 \* 簡潔に記入をお願いします。

---

---

---

---

---

---

---

